

平成二十二年

住んでみたくなる 魅力ある町を目指して



御代田町長 茂木 祐司

新年おめでとうございます。日ごろから、町行政にたいしまして暖かいご理解とご協力をいただきありがとうございます。深く感謝を申し上げます。本年が皆さまにとって充実した年になりますよう、心よりご祈念を申し上げます。

現在の世界経済の動きに比べて、残念ながら日本の政治と経済も混迷を続けています。町行政としては、深刻な不況の長期化のもとで、町民の皆さまの暮らしと地域経済に対処して、その責任を果たさなければならぬと痛感しています。

町としては、2億6千万円の緊急経済対策を中心に不況対策に取り組み、生活道路の改修や農道などの環境整備、プレミアム商品券の発行による地域経済と町民生活への支援、保育園・児童館のトイレ改修や学校施設の整備、高校生をもつ生活困窮世帯への就学援助支援、町内の防犯灯を2倍の明るさの蛍光灯に付け替えるなど、さまざまな事業

を進めてきました。

特に昨年からは「健康な町づくり推進プロジェクト」を立ち上げて、「町民の皆さまが健康で生活できる町を目指そう」と新たに事業を始めました。行政としては保健福祉体制の強化を進め、各地域の保健補導員の皆さまなど関係者の活躍により、例えば特定検診の受診率でも近隣自治体の中でトップクラスの成果をあげることができました。

「ウォーキングポール」を使った健康ウォーキングの推進も、取り組みの一つです。ウォーキングポールの効果は、歩行の姿勢がよくなる、上半身も使うことで全身運動となり運動効果が高い、足腰の負担が軽減されて高齢者でもウォーキングができるなど、すでに実証済みです。町では教室を開催し、多くの方に参加いただいています。また、ポールの購入に対して2千円の補助を行なっていますが、すでに百数十人の皆さまが、健康ウォーキングに取り組ん

でいます。

昭和31年9月30日に御代田町が誕生して53年目を迎えました。御代田町は将来にむけた大方針として、2万人の人口を目指す基本方針のもとで、着実に人口が増えています。私はこれからの町づくりの方向として「住んでみたくなる魅力ある町」を基本に、「自然環境のよい町」「子育てしやすい町」「保健福祉の充実した町」を目指していきたいと考えています。

これまで御代田町を築き上げていただいたのは、先人の皆さまの血のにじむような努力の賜物であり、私たちはそのことを忘れずに、今日までの幾多の成功と失敗の教訓から深く学んで、明日の御代田町にむけて心を合わせて歩んでいきたいと決意を新たにするものです。

新年にあたって、皆さまのご健康とご活躍、地域の発展にむけたお力添えを切にお願ひ申し上げて新春のあいさつとさせていただきます。

新春あいさつ

元気で頑張ろう

御代田町



議会議長 柳澤 治

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、平成22年の希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

議会にたいしまして、日ごろより町民の皆さまには暖かいご支援、ご協力をいただいておりますことに、議会を代表して心から御礼と感謝を申し上げます。

平成21年は、一昨年9月アメリカのサブプライムローン問題から端を発したリーマンショックによる金融危機で、世界同時不況になり、派遣社員の派遣切りにより、住まいを失った人たちの年越し派遣村騒ぎから始まりました。

景気の回復は一向に進まず大規模リストラなど、雇用の不安定な状態が続いており、さらに11月には、ドバイショックによる円高が進み、国内の輸出企業を中心に一段と厳しい状況が続いております。

町内の企業におかれても例外ではありません。

8月の町議員選挙と同時に行われた衆議院議員総選挙においては、民主主義の原点といえる政権交代が起こりました。世界でも非常に珍しい50年以上も続いた自民党中心の政権から、民主党を中心にした政権に変わりました。

11月には、行政刷新会議の事業仕分けの様子が、傍聴も認められ、インターネットやテレビで発信され、多くの国民の関心を集めました。今まで密室で行われていた予算折衝を考えると画期的なことでもあります。

政権交代により国のシステム、手法、政策が変わるのは当然のことでもありますので、町への影響もあると思います。鳩山政権が「地域主権」の実現を政策の柱に掲げていますので、地方への権限拡大を期待しております。

御代田町におかれましては、前々から計画のありました中学校建設工事も始まり、平成23年の完成を目指し2本の工事用クレーンが高くそびえ

立っています。また、中学校建設工事に伴う周辺道路の整備、駅周辺の道路整備などの大きな事業も控えています。

医療、介護の負担増、教育、子育て支援などの重要課題も山積しており、特に、可燃ゴミの安定処理の筋道は、明確な方向が定まらず一刻も早く解決していかなければなりません。

議会といたしましても、より一層の町の活性化と公共福祉の向上を目指し、町民の皆さまが安心して暮らせる町をつくるため、住民の代表機関として、よりきめ細やかに、町民の皆さまの声をお聞きし、対話を深め、信頼される議会運営を進めてまいりますので、いっそうのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、平成22年が御代田町にとりまして、すばらしい年でありますと同時に、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。